



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともそう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：それでこそロータリー
◆司会：新藤 幸紀 S.A.A. ◆会場：大沼デパート

Yamagata West Rotary

第2835回例会

平成31年1月28日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



この1週間、寒中に相応しい寒い日が続きました。インフルエンザが全国的に猛威を振るっているようです。ご注意頂きたいと思います。

昨年来、触れておきたかったことが一つありまして、ロータリーの友12月号に、友好クラブ高知南RCの国際奉仕「ブラジル医療支援」に関する記事が掲載された件についてです。ご覧頂いた方も多いたと思いますが、高知大学医学部と連携し、現地第4470地区のカンポグランジ大学RCとの関係を築き、グローバル補助金を使って内視鏡による高度医療普及のための職業研修チーム・プロジェクトを立ち上げた記事です。ブラジルは、オリンピックやサッカー・ワールドカップ開催に伴う巨額投資などで財政難に陥り、SUS(統一保険医療システム)という国民皆保険がありながら、それが機能せず市民に十分な医療が提供されていない実情がありました。このプロジェクトのきっかけは、高知大学医学部からブラジルでの高度医療支援の相談が寄せられたことに始まります。何分遠いこと、単年度で終る性質のものでなく、継続を求められているようですが、予算規模が大きいこともあって、今後の取り組みに課題を残していると伺っております。

我が西クラブはポカラへの支援以来、国際奉仕活動から遠ざかっており、国内や国際を問わず新規の奉仕プロジェクトを模索しています。皆さんの身边に社会貢献に繋がる課題やアイデア、ヒントなどがありましたら是非提案して頂きたいと思っております。

我が西クラブはポカラへの支援以来、国際奉仕活動から遠ざかっており、国内や国際を問わず新規の奉仕プロジェクトを模索しています。皆さんの身边に社会貢献に繋がる課題やアイデア、ヒントなどがありましたら是非提案して頂きたいと思っております。

ブラジルについての知見を少し話させて頂きますと、チリの友人たちが一番好きな国はブラジル、とても明るく魅力的な国と言います。面積や経済規模が大きく農産物や諸々の物資もブラジルに持って行けば、すべて飲み込んで呉れる。そんな魅力があるようです。私も何回か立ち寄った経験があり、2001年頃は500とか600%のインフレ率にあえていました。サンパウロの友人によると、その日の現金をその日のうちに物に替えておかないと価値を失ってしまう凄まじい事態でした。遂に通貨が破綻しましたが、それで

も人々は明るく振る舞っている。ブラジルのイメージは、カオス(混沌)でした。

今、ダイバーシティが取りざたされていますが、日本のように管理された社会に住み慣れていますと、変化への意識改革や対応に抵抗感や違和感をもって受けとめられがちです。

アマゾン・ジャパンには、50以上の国や地域から6000人以上が働いており、国籍にかかわらず知識や経験の多様性が活かされ、こうした環境からイノベーションが生まれやすい。自ら学び自分で判断する力がアマゾンでは重視されます。昨日正かったことが、今日も正しいとは限りません。違うと判断する勇氣、リスクをとる勇氣も大事です。

「最もお客様を大切にすること」として、創業者のジェフ・ベゾスは、毎日が始まりの日「Day1」だと言っています。さまざまな顧客のニーズに応えるために、こちらも多様でなければならない。

もう一度、自社の現状を見つめ再考して見たいと思います。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

●第31回の米山功労クラブ、多額の寄付にて心から感謝の意を表しますということで、理事長、ロータリー米山記念奨学会理事長からいただいております。

●南高知ロータリーさんから土佐の文旦を頂戴しております。みなさんでシェアしていただければと思います。

●南陽東ロータリークラブさんから30周年ということで、5月に開催されるということでご案内を頂戴しております。会長・幹事のほうで行ってまいりたいと思っておりますので、ご案内のみとさせていただきます。

●IMの開催が3月2日、現在30名の参加を頂戴いたしております。48名以上で40%達成ということで、定例会扱いになりますので、まだ参加表明されていない方、また、欠席で出したんだけど参加できそうという方、是非奮ってご参加いただければと思いますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

ビジター挨拶



IMのご案内

中山ロータリークラブ
西村 雅之 会長

さて、IMは3月2日土曜日でございます。

我々、中山ロータリークラブは、総勢13名という少数精鋭で頑張っているクラブです。ただ今、いろんな面で準備をしている真っ最中でございます、大きなテーマとしましては、中山町は山形県内でも、1番面積の小さい町でありまして、人口も1万2千を切ってしまいました。そんな中でも、寒河江方面、庄内方面に行くには、中山町の国道112号線を必ず通らなければいけない。そういったところで、通過の町というふうになっておりますけれども、これを色々掘り下げますと、歴史もあり、文化もありということで、今回は中山町の郷土研究家であります村山拓先生を講師にお迎えしまして、「紅花文化と中山 小さな町中山 小っちゃい町おこし」という演題で講演をしていただきます。

中山町は昨年度、山形県そして7つの市と町が協力しまして、山寺が支えた紅花文化ということで、日本遺産に登録されております。山寺から始まった中心とした紅花文化、そういったところで、我が中山町には柏倉九左衛門家があり、江戸の頃から、明治、大正、昭和の初めまで大庄屋、そして大農家ということで、紅花の生産においても、内陸で1番を誇ったという歴史がございます。昨年の4月から九左衛門家、そして分家であります惣右衛門家が町に寄贈され、ただ今、その内容の資料とか、たくさんの歴史の物を1つ1つ管理しまして、常時開館に向けて準備しているところでございます。本来ならば、3月3日から九左衛門家に伝わる昔のおひなさまを展示して、ひな祭りを開催する予定でございましたが、今回のIMの合わせて町に協力をお願いし、3月2日土曜日からひな祭りを開催していただくことになりましたので、柏倉九左衛門家のほうにお越しいただきまして、おひなさま、仏具、上座敷、下座敷、それから、九左衛門家から惣右衛門家、その他の分家のほうに当たりますその一族、その一族に黒い屏で囲まれた一帯がございます。そちらも色々ご覧になり、公民館での講演でその詳しい内容を語っていただくことによって、興味を持っていただけるのかなと思っております。

それから、中山町と西郷隆盛、従道さん、お2人の兄弟が町とすぐ関係性があるということが分かりまして、盛んにPRしているところでございます。また、中山町は芋煮会発祥の地であると宣伝しておりまして、最上川の舟運、そういったところから、なぜ芋煮会が始まったかということも併せてお話が聞けると思っております。その後には、おいしい料理を準備して、懇親会も盛大に行いたいと思っておりますので、是非とも多数のIMへの参加をお願い申し上げまして、本日のご挨拶に代えさせていただきます。

ゲスト卓話

「トップアスリートから学ぶこと」

東北・山形バスケット協会
会長

大神 訓章 氏



皆さん、こんにちは。テーマは「トップアスリートから学ぶこと」です。スポーツにはいろんなジャンルがございます。その中で、今日はチャンピオンスポーツ、競技スポーツに身を置くアスリートを2、3ご紹介して、そのアスリートから何を学ぶかということで話を進めていきたいと思っております。

昨年の2月の東京マラソンで、設楽悠太が2時間6分11秒、日本新記録を出して1億円をゲットしました。その8カ月後、昨年の10月に、大迫傑が2時間5分50秒、日本新記録を出してやはり1億円をゲットした。そのように記録を求めるスポーツがチャンピオンスポーツですけども、実際そういうスポーツで実績を上げた人たちの裏には何があるか。1つはスポーツ科学の進歩であります。スポーツ医学、スポーツ生理学、血中のヘモグロビンを測定したり、筋肉の乳酸値を測定したり、そういう医学的な、生理学的な進歩もございました。それからトレーニングの進歩、栄養学の進歩もありました。それらがかみ合って日本記録を更新しているわけでございます。

一方、スポーツ用具の開発・進歩も目まぐるしいものがあります。今回の2人のアスリートには厚底のシューズが開発され、しかも軽量化されました。184グラムです。一般のランニングシューズですと300グラム近いですけども、まさに軽量化されてしかも厚底。それがスプリントに生かされました。そういう用具の開発もあります。

ゴルフのドライバーの進歩もかつてのパーシモンからメタル、チタン、チタン合成というふうには、どんどん開発されていきます。ただ、それで飛距離が伸びるといのは大きな間違いで、飛距離を伸ばすにはまさに体幹、技量である。それを勘違いして新しいものにすぐ飛びついてしまう方もいらっしゃると思うんですけど、裏付けになるのはスポーツ技術であり、身体的な能力であります。そのスポーツ技術の中で、僕は歴史的に一番の改革、これは走り高跳びの跳び方スキルなんです。かつてはベリーロールで跳んでいましたが、ワレリー・ブルメル、当時の世界記録保持者は2メートル28センチ、旧ソ連の選手です。今は10人が10人ともご存知のように背面跳びです。これは、リチャード・ダグラス・フォスベリーというアスリートが自ら考案して、チャンピオンになった。1968年のメキシコオリンピックで金メダルを獲ったわけですけど、それ以降山形の小さな地区の大会、中学生の大会でも背面跳びで跳んでいます。

スポーツの世界でこういう技術が特許を取って、特許制度があれば、もう彼なんかまさに億万長者になっていると思

います。スポーツの世界はスポーツ技術であれ、戦術であれ、トレーニング方法であれ、当然オープンに真似して、模倣して、そして自分のパフォーマンスに上乘せして記録を出して勝負に挑んでいるわけでございます。ただ、このフォスベリーのその背面跳びを編み出した経緯には、コーチから否定はされる、周りから跳び方を見て当然あざけ笑われました。でも彼自身は勝ると信じて、背面跳びに挑戦して、金メダルを獲ったという経緯がございます。それがこのメキシコオリンピックの時の金メダルなわけです。

アスリートの1つには、この柔軟な思考ができる、それから発想の転換ができる、そして自分がこれだと思ったスキルについてはほとんど問い詰めていく。継続する力ということ。こういうのが兼ね備えているからこそトップアスリートの1人になると思います。

次に紹介したいのはこの3名です。マイケル・ジョーダンとタイガー・ウッズとイチローであります。僕は地球上に現存するアスリートの中で、トップスリーはこの3人だと思っています。

イチローはご存知のように野球センスは抜群です。特にバッティングセンス。ワンバウンドもヒットにしちゃう。もうヒットは、数は数え知れない。

タイガー・ウッズは1度ブランクがありましたけども、昨年復活しました。飛距離だけじゃなくて彼のグリーンの周辺のタッチは素晴らしいものがございます。

特に彼は、実はスタンフォード大学出身なんです。途中プロに転向して卒業していませんけども、その有名な、優秀な大学の出身であるということです。ちなみにスタンフォード大学には58人のノーベル賞を輩出しています。

マイケル・ジョーダンはバスケットの神さまと言われております。32,292点ですか、NBAの得点。これはナンバーワンです。絶頂の時にプロ野球、MLBに転向して1シーズン野球をやりました。そしてまたNBAに戻ってきて、そして多大な実績を残しました。彼が稼いだお金は1,900億円です。彼に「なんでそんなにシュートが入るのか」と、ある記者が質問しました。すると、最後のリリースのタッチ、ボールから離れるのは人差し指、中指なんです。その人差し指、中指のそのボールのタッチについては、説明しつくせない、もうそれぐらい微妙なタッチ。

それはどういうことかと言いますと、彼ら3人は、こういう「知」を持っています。暗黙知というんですが、説明しつくせないその筋肉の動き、これがまさにトップアスリートの領域である「知」だと思います。だからこそイチローにしてもタイガー・ウッズにしても、それからマイケル・ジョーダンにしても、いろんなところでコメントにその優秀さがうかがえることになるんです。ただ、アスリートの中では順風満帆に競技生活を送っているとは限りません。紹介するのはマイケル・フレッド・フェルプスです。メダル28個。金メダル23個。これはオリンピック史上彼がナンバーワンです。2番手はかつての器械体操のラリサ・ラチニラという女子選手の18個

です。日本選手のオリンピックでは加藤沢男、器械体操の選手で、12個なんです。そのフェルプスは、実は両親の事故、多動性障がい、酒気帯び運転で逮捕、大麻疑惑、そして自殺未遂。これは実際大麻でも逮捕されました。それら乗り越えて、北京オリンピック、そしてロンドンオリンピックでメダルを28個獲ったわけなんです。精神的にトップアスリートは強いと思いがちですけども、実は自分を見出せずに追い込んで死に追いやるといったケースもございます。それが円谷幸吉。1964年東京オリンピックで銅メダルを獲りました。陸上では東京オリンピック、彼が唯一のメダリストなんです。その4年後、68年に彼は「父上さま、母上さま、幸吉は悲しゅうございます。これ以上競技を続けることはできません。お許してください」という遺書を残して自殺いたしました。そう考えますと、円谷幸吉はともかくとして、トップアスリートの2つ目はタフさ、たくましさ、そしてストレスのマネジメントをしっかりコントロールできる。マイケル・ジョーダンで紹介しました暗黙知のような知、あわせてストレスをコントロールできる。それもトップアスリートの要件だと思います。

土曜日に大坂が全豪オープンテニスで優勝しました。コメンテーターはこぞって彼女の精神的な成長を評価していました。感情をコントロールできるか。ストレスをコントロールできるか。大坂なおみにいえば、第3セットのあの入りはまさにコントロールした結果が優勝に結び付いたんだろうと思います。

次にウサイン・ボルトも実はハンディを背負っています。自らの身体のハンディ。それは脊柱側湾症なんです。背骨が曲がっていると、当然ノーマルな足の動きができません。骨盤が8の字に回転します。彼は、側湾症をどういう形でクリアしたかと言いますと、筋肉を鍛えて鍛え上げて、そしてクリアしたという。おそらくボルトの9秒58は向こう50年、いや100年は破られないんじゃないかという評価を受けています。

もう一人紹介したいのは北島康介です。彼は東京のスイミングクラブ出身で、子どもの頃は同じように自由形のクロール。しかし平泳ぎで金メダルをとりました。彼はハンディと言いますか反張膝（はんちょうひざ）、膝が外側に向くという。成長過程で分かって、平泳ぎの推進力は「カエル足」。足が7割と言われています。カエル足の水を蹴る量、これをもって推進力となるわけですから、反張膝でもって彼は1.3倍、ノーマルな膝の人よりも水の押し出す、蹴り出す量が多くなっています。だから平泳ぎに転向して彼は金メダリストになったというわけでございます。

このように、環境、自分のハンディ、それから自分の体の特徴を活かしてトップアスリートに登りつめた人たちを今紹介しました。次に、娘のことですが、WNBAにショウカンプレーしました。それから中国でもプレーし、アテネオリンピックに行きました。WNBAそして中国でも優勝することができました。娘は今まで紹介したアスリートと同じよう

ニコニコBOX

に小学校3年生の時に第五腰椎粉碎骨折しました。それから手首の甲、これはアメリカに行く前ですけれども、骨折をしています。それから足の甲、これは2012年このボルトとかプレートはいまだに入っています。それらを乗り越えて、WNBA、中国でもプレーできたということです。

1990年から91年、ロサンゼルスUCLAに留学しました。家族で行きました。娘は小学校2年生のとき、アメリカのバスケットのプログラムに入れました。それで3年生の6月に、日本に帰ることになりました。日系のチーム仲間が、さよならパーティ開いてくれたわけです。そこで娘が「次お会いするのは、ぜひアメリカに来て自分はバスケをやりたい」と。アメリカの日系三世の人たちは苦笑いしていました。「そんなことあり得ないだろう」と。それでも夢みながらそれが徐々に目標になって実現できるというようになりました。「あきらめず努力すれば夢はかなう」いろんなアスリートが言ってます。

我々は一般的に「人のふり見て我がふり直せ」いわゆる反面教師です。母親の姿を見て成長する、父親の姿を見て、先輩の姿を見て、自分がそうしないようにとか、そうしようとか。だけどトップアスリートは、もちろんメディアの目があります。「我がふり見せて人のふり直す」。当然注目を浴びているわけですからめったなことではできない。それがトップアスリートの宿命かなと思うんです。だからこそ、トップアスリートは我々があこがれる存在でもあるということです。

最後のまとめになります。ストレスをどうコントロールできるかという「タフさ」「たくましさ」、それから「かしこさ」です。「思考力」「集中力」「想像力」、それから「経済力」「継続力」とかというのは身体的な能力ではないんです。我々がトップアスリートから学ぶことができるのであれば、程度の差はあれ少しは思考、少しは彼たちが目標にしている「持続力」「継続力」、このあたりは我々一般人も十分学ぶことができるんじゃないか、参考になることができるんじゃないかと思うところでございます。

佐藤充昭さん／おかげさまで新社屋が年末に竣工しました。建設に協力いただきましたみなさまに感謝してニコニコします。また下期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

佐藤章夫さん／今回図らずも山形市民文化賞を拝受することになりました。ただ道楽を長く続けてきただけで芸の方は甚だ未熟でございます。伝統芸能を絶やさないように地方の末端で活動を続けてまいります。

鈴木隆一さん／1月20日(日)、2880gの孫娘が生まれました。病院で、今か今かと待ってました。無事、元気に生れて対面しました。31年前、私の父鈴木傳四郎と義父小嶋祐輔が初孫誕生で西RC例会でニコニコしました。二人はもうこの世にいませんが、あちらで喜んでいるはずです。まだ、しばらくがんばります。

尾形 亨さん／①先日、原辰徳氏 巨人軍3度目の監督就任並に野球教室入りの祝賀会に参加！オーラをいただいて参りました。②大相撲観戦→9日目白鷹町出身の十両、白鷹山の勝ち相撲でした。のどがかれましたがオーラをいただきました。

菅原茂秋さん／1先日、山形新聞のフロントラインに取り上げていただきました。新聞もろくに読まないにもかかわらず恐縮しております。今後はしっかり誌面どおり取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

結城和生さん／先の1月21日に戸田正宏さんのお誘いで大相撲観戦に6名(尾形さん、鏡さん、長岡勲さん、戸田さん、東海林健登さん)で出かけ応援してきました。白鷹山(ハクヨウザン)勝ち越しにニコニコ。

戸田正宏さん／白鷹町出身で、私の息子の嫁のいとこの子の白鷹山関が今場所も勝ち越しました！これで三場所連続の勝ち越し。幕内ももうすぐです。皆様の応援よろしくお願い致します！

親睦・家族委員会／1月21日に開催した新年会には、多くの会員の皆様にご参加を頂きありがとうございました。不行届きの点が多々ありましたが、皆様のご厚情で無事に終了することができました。次回は観桜会になります。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (1/28)	96名	52名	修正出席 (1/7)	96名	84名	83名	98.81%
メイクアップされた会員	(山形北) 尾形 亨、鏡 武利、吉田 福平、伊庭 公也、伊藤 義彦、長岡 勲、武田 良和、遠藤 正明、晋道 純一、風間 義朗、後藤 光政、清野 伸昭、戸田 正宏、木村 孝 (山形東) 伊藤 歩、長岡 壽一、小林 廣之、安部 弘行、武田 秀和、伊藤 義彦、後藤 光政						